

『令和3年 年頭所感』

理事長 下村 卓司

新年あけましておめでとうございます。

昨年は新型コロナで始まり、新型コロナで終わった1年になりました。その間このウイルスは、国民の生活様式や仕事のやり方、人間の価値観まで変えるような大きな影響を与えました。

一昨年末より新型コロナの事は報道され始めていて、その流れの中で令和2年度法人方針を策定し、「変化と考働」をスローガンに掲げました。その真意は、この感染症により世の中は大きく変化すると想定し、その変化にいち早く対応できるようにと考えての事でした。それ以外にも、法人の入所施設である「ゆらくの里」の増改築が令和2年夏より本格的に実施されるのと、職員2名体制で運営していた事業企画推進室に7月より帝人ファーマで部長の役職に就いていた松本理事を迎え入れ、3名体制で法人全体の改革に着手する事、また、新型コロナにより中止になりましたが5月にミヤンマーより4名の外国人労働者を迎え入れるという事も想定されていた中での方針です。

以和貴会として今後30年を見据えて様々な改革に着手する年度である事より、各職員がしっかりと自分事として考えて働く事で、大きな変化に対応して行こうとの思いが入った方針です。その年度も9か月が経過し、紙面ではご紹介仕切れないほどのプロジェクトを同時進行で現在も進めています。どれも道半ばであり、やり切れたものはないものの、私をはじめ管理者と言われる人間の意識は間違いなく変化して来ております。この変化は、法人内に必ず伝播して行き、大きな変革の波が来年度以降に起こると信じております。その変革も各職員が考え抜いて起こしている変革なので、きつとご利用者にとってより良い支援に繋がって行くものと確信しております。

これからもこの未知のウイルスとの闘いは続くと思われ、また新たなウイルスも出てくることでしょう。しかし、どんな変化にも対応できる法人体力をつけると共に、法人の内からの変革により揺るぎない法人運営を目指して参ります。そういう意味ではこの新型コロナ感染症は、我が法人にとって一つのカンフル剤であり、あらゆる免疫力を上げる抗原であると同向きに考え、ご利用者の安全を最優先に考えるも神経質に怖がる事無く、変革の歩みを今後益々進めて参りたいと思います。

結びに、令和3年9月には新生ゆらくの里もスタートします。生まれ変わった以和貴会をお見せできる日は近いと思いますので、どうかご期待頂ければと存じます。

今後とも当法人に更なるご理解とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げ、令和3年新年を迎えるに当たり、年頭所感とさせて頂きます。



クリスマス会 & 大忘年会 ～各事業開催報告～

コロナ禍ではありますが、ご利用者の皆様に楽しんで頂くため、各事業にて対策を講じながら「クリスマス会」と「大忘年会」を開催しました。



■障害者支援施設 ゆらくの里

12月4日に、ゆらくの里にてコロナ禍という状況の中、規模を縮小した形で「クリスマス会」を開催しました。冒頭では、生活支援1グループの高齢班のメンバーの皆さんに、作品展及び1年間の取り組みに対してスタッフから感謝の意を示し、賞状の授与式を行いました。合同作品の作成のために、今回初めて作品展に参加された方もおられ、授与式後には「来年も何か描いてみようかな」など来年への意欲も話されていました。催しは、スタッフに有志を募り、「ロシアルーレット」「二人羽織」「合唱」「ヒゲダンス(マシュマロキャッチ)」を実施しました。普段見せないスタッフの姿にご利用者の皆さんも笑顔がこぼれていました。



■ワークサポートセンター今人

12月12日に、ワークサポートセンター今人にて「大忘年会」を開催しました。スタッフのギター演奏に合わせて好きな曲を歌って踊ったり、ミニゲーム「箱の中身は何だろう?」では、ドキドキしながら箱の中身を考えたりと大盛り上がり。

その後のお昼ご飯では、事前にそれぞれ好きなネタを選んで注文したお寿司を堪能。デザートにはモンスターのシフォンケーキにフルーツ・生クリーム・チョコレートを自分たちでデコレーションして、召し上がっていただきました。



■我楽 さぼーと班

12月26日に、我楽さぼーと班の「クリスマス会」を開催しました。ご利用者の皆様にサンタクロースのエプロンや帽子を着けていただき、スタッフのピアノ演奏に合わせてクリスマスソングを歌われたり、楽器を演奏されたりして楽しんで頂きました。



昼食はふれあいキッチン SORA 弁当を、デザートにはモンステラのクリスマスケーキを召し上がっていただき、どれも「美味しい！」と大好評でした。



■すみれの里

すみれの里では、今年度クリスマス会を2回行いました。1回目は、毎年恒例の「ふたば」ボランティアさん主催のクリスマス会。12月10日、新型コロナウイルスの影響で毎年恒例のプレゼント交換会となりましたが、ボランティアさんからはお菓子やジュース、ぬいぐるみ等沢山の頂き、すみれの里からは、ご利用者が制作したブーツの置物をお渡し致しました。

交換会の後は、お菓子等を食べながら頂いたプレゼントのくじ引きを行いました。皆さん自分の番号を呼ばれるのを待ちきれない様子でした。



2回目は、12月24日事業所内でのクリスマス会。スタッフとアシスタントの男性ご利用者によるマジックショーやクリスマスに因んだクイズを楽しんでいただきました。マジックショーでは不思議そうに見ておられたり、また、クイズでは「赤鼻のトナカイの名前は？」の答えである『ルドルフ』を皆で声に出してみると、発音が難しい様で「ゆどうふ」に聞こえたりするなど、笑顔の絶えない一日となりました。最後に、午前中にご利用者2名と、スタッフ2名で作ったケーキを召し上がっていただきました。

■児童支援課(放課後等デイサービス HUG・LIVE & ゆらくの里放課後等デイサービスセンター)

12月12日(土)に、児童支援課『クリスマス会 in ボノビル』を開催しました。今回は、コロナ感染拡大防止のため、「はぐ」「らいぶ」「ゆらくデイ」の各クラスに分けての実施となりました。昼食にはバイキングを準備し、たくさんのおかずの中から好きなものを選び、お腹いっぱい召し上がっていただき、デザートはクリスマスケーキは、自分たちで作った特製ケーキ！甘い物は別腹のようで…みんなぺろりと平らげていました。

その後は、サンタさんへのお願い事を真剣に考え、自分たちで可愛く飾りつけをして素敵なカードを作成。

お楽しみのビンゴ大会では、自分の番号がいつくるのか、ワクワクした様子で前のめりになって参加するなど、盛り上がりを見せていました。最後にサプライズでサンタさんが登場！プレゼントをもらって嬉しそうな子どもたちでした。



『ふれあいキッチン SORA・空』 グランドオープン！！

10月24日(土)に、香芝市ふたかみ文化センター2Fに『ふれあいキッチン SORA・空』がオープンしました。

「塩だれ天津飯」や「特製カレーSPA」などの新メニューを加え、どこか懐かしさを感じられる美味しいメニューをたくさんご用意。また、お弁当のご注文も承っております。皆様のご来店を心よりお待ちしております。



〒639-0243 奈良県香芝市藤山1丁目17-17 香芝市ふたかみ文化センター2F

TEL・FAX 0745-76-8708

営業時間…11:30～15:30(L.O15:00) 定休日…日・月・祝

Instagram



ホームページ



アート 活動「アトリエ それいゆ」便り

絵画サークル・アトリエそれいゆ
岡橋 三起子

新型コロナウイルスのワクチンができるまで、活動の休止を余儀なくされているアトリエそれいゆですが、昨年の秋も、素晴らしい経験をさせていただくことができました。その活動の一端をご報告させていただきます。

■たんぽぽの家の仲間たち コミュニティコレクションがつなぐ縁 開催（田中啓義先生・川上文雄先生 共同企画）

コロナ禍で開催が危ぶまれた「たんぽぽの家の仲間たち コミュニティコレクションがつなぐ縁」が無事開催され、アトリエそれいゆの皆さんの作品も展示させていただきました。この作品展は、登大路総合法律事務所の所長弁護士・田中啓義先生がアトリエそれいゆの作品をレンタルしているという事実を、障害のある人の作品のコレクターである川上文雄先生が知ったことから始まります。その時の感想がこちらです。「田中啓義さんは、アトリエそれいゆ（香芝市）から作品を有償レンタルして、自身の法律事務所に飾っている。もう5年にもなるという。私のようなコレクターではない生き方がある！目からうろこが落ちました。一昨年の秋のことでした。個人で所有する以外にも、レンタルなどの方法で、地域に存在する作品（＝コミュニティコレクション）とつながることができる。それを使って『楽しくて幸せを感じる』活動ができる。これを田中さんの生き方から学びました。今回の展覧会の原点です。」また、田中先生は展覧会開催によせて、次のようなコメントを発表されています。「人の個性や体験が際立てば際立つほどに、その人の生み出す芸術作品には、人を感動させる力があります。障害のある方の描く絵画とは、そういったものだと思います。そして、障害のある方は、その生み出した絵画を鑑賞した多くの人たちの感動を目の当たりにすることで、自己実現の歓びを感じることができます。絵画を通じて、人と人とが身体の垣根を越えて、『共に生きていること』の歓びを実感すること。私は、それを、人権を守る場所である、裁判所や法律事務所で実現したくて、障害のある方の素敵な絵画のレンタルを始めました。私の法律事務所では、働く職員が、そして、訪問される依頼者や相談者の方々が、展示された絵画によって、時には心を癒され、時には心を躍らせていただいております。」ここに、たんぽぽの家の「六条山プライベート美術館」が加わり、三者三様の展示が完成しました。開催まで1年という期間をかけて、関係者と共にじっくり構想を練りました。「アートもコミュニティも、ともに輝かせたい。アートが輝くコミュニティ。」この言葉を合言葉に、開催するまで、とにかく頑張りました。

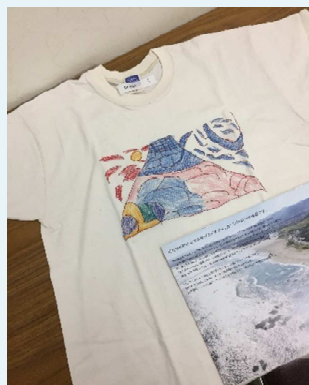
<会 期>2020年10月20日（火）～10月25日（日）

<会 場>アートスペース上三条（奈良市上三条町4）

このような素晴らしい機会を与えてくださった皆さん、本当にありがとうございました。



「たんぽぽの家の仲間たち」展示風景



■第32回Tシャツアート展 開催（NPO 砂浜美術館 主催）

コロナ対策により開催が延期されていた「第32回Tシャツアート展」が、2020年10月31日（土）～11月3日（火・祝）まで、高知県黒潮町入野の浜にて、例年よりも期間を短縮して開催されました。この作品展には、アトリエそれいゆから小山加尉さんが参加されています。今回、小山さんが出品した作品のテーマは「日本一の山」。堂々とした富士山がモチーフです。Tシャツアート展は、万全な安全対策を講じながらの開催になりました。規模は例年よりも縮小されましたが、多くの方と喜びを共にすることができました。

小山加尉さん「日本一の山」

■プライベート美術館 お見合い展示（奈良県障害者大芸術祭実行委員会・奈良県大芸術祭実行委員会・奈良県 主催）

新型コロナウイルス感染症問題のさなか、様々な作品展が中止になりましたが、今年も「プライベート美術館」の開催が決定し、お見合い展示が開かれました。この展覧会は、障害のある人のアートを日常の中で楽しむプロジェクトです。全国から奈良を訪れるたくさんの人達が、奈良県下のショップ等で作品に出会います。選ぶ人の想いはそれぞれにあり、作品を通して素晴らしい出会いがあり、ドラマがあります。

＜プライベート美術館 展示期間＞2021年1月30日（土）～2月14日（日）

＜開催場所＞県内各地のカフェ・町屋・社寺など

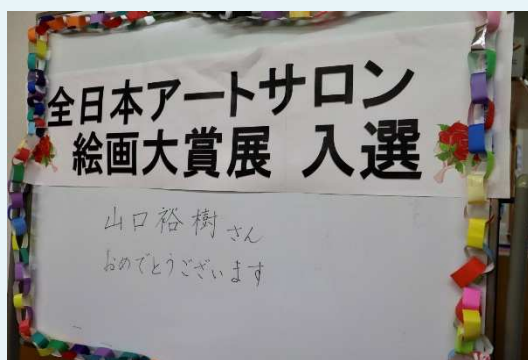
安全対策を講じながら、是非、古都・奈良を堪能していただければと思います。



高嶋和江さん「きんぎょくん」

■山口裕樹さん「全日本アートサロン絵画大賞展」入選お祝いパーティー開催

アトリエそれいゆの山口裕樹さんが「全日本アートサロン絵画大賞展」に入選され、ワークサポートセンター今人にて、お祝いパーティーを開催しました。パーティー当日、山口さんは少し緊張した面持ちでスタッフの問いかけに答えておられましたが、皆さんの心からの祝福にとっても嬉しそうにされていました。最後に、参加された皆さん全員でお菓子和ジュースをいただき、幸せなひとときを満喫しました。私が一番感動したのは、参加された方全員、まるで自分の事の様に喜んでくださった事です。ワークサポートセンター今人全体が、幸せにつつまれる瞬間でした。ご利用者の皆さんの心の美しさに触れ、アートの素晴らしさを実感した1日でした。このような機会をいただき、感謝している次第です。これからも、アートの支援をがんばろうと思います。



（左）山口裕樹さん「silence-静寂-」（中・右）お祝いパーティーの様子

一堂に会してアトリエ活動ができなくなって、もうすぐ1年になろうとしています。「早くアトリエそれいゆを再開して欲しい」という声も聞かれる中、一刻も早いワクチンの開発が望まれます。アトリエそれいゆを再開できれば、実現したい夢はたくさんあります。

その一つが、ボノボビルの階段や踊り場の壁面を使った展示「コロナに負けるな！アート展」。コロナ対策によりご自宅で、一人で制作を続けてこられた方々の成果を、ボノボビルという皆さんにとって身近な場所で、アットホームな雰囲気の中で披露するのです。

世界中が新型コロナウイルス感染症という、とてつもなく大きな問題に直面していますが、そこから見えてきた真実があります。私たちの日常には、いたるところに「アートのなもの」がちりばめられています。日常にある「アート」の役割が、思いのほか大きなものである事に、改めて気がついた1年でした。

芸術活動紹介



～我楽さぽーと班「第48回奈良県障害者作品展」優秀賞～

我楽さぽーとの合同作品「ジェリーフィッシュと仲間たち」が、「第48回奈良県障害者作品展」にて優秀賞に輝きました！「我楽さぽーと」が法人に創設されて以来、初めての快挙です。9年という歳月をかけて、ようやく悲願を達成する事ができました。

【会期】2020年12月5日～12月10日（木）

【会場】奈良県文化会館 展示室A・B及び特別展示室

この作品では、冷やしうどんの入れ物等、廃棄するものを使用し、くらげのゆらゆらと揺らめく様子や、海で泳ぐ魚たちを表現しました。「優秀賞」受賞の知らせを受けた時、スタッフ一同、驚きと共に喜びに包まれました。コロナ禍で活動が制限されている中、多くの方と幸せを共有できたことは、今後の活動の励みになりました。

また、今回の受賞を受け、12月12日（土）にお祝いパーティーを開催しました。

（上）我楽さぽーとの合同作品「ジェリーフィッシュと仲間たち」

（下）お祝いパーティーの様子



新入職員紹介



ふじわら ようこ
藤原 陽子（11月11日入職）

我楽 モンステラ（工房）パート

まだまだ分からない事だらけでご迷惑をかけてしまう時もありますが、スタッフ、ご利用者の方々が優しく接して下さるので、早く皆さんのお役に立てるよう頑張ります。よろしくお願い致します。



くろかわ さおり
黒川 咲織（11月20日入職）

ふれあいキッチンSORA パート

11月20日より、ふれあいキッチンSORAで勤務させて頂く事になりました。ご利用者の方と笑顔をたやさず頑張りたいと思いますので宜しくお願い致します。



たにもと ゆか
谷本 由佳（12月11日入職）

我楽 モンステラ（カフェ）パート

12月からナチュラルカフェモンステラで働かせて頂いております。お客様にもご利用者の方にも感じの良い対応を心がけて行きたいと思っています。



ひがしうら とも
東浦 友（12月21日入職）

ゆらくの里 パート

12月21日から、ゆらくの里でお世話になっています東浦です。ご利用者の笑顔を大切に関わっていけるよう頑張ります。どうぞ宜しくお願い致します。

『魅力発信プロジェクト』始動！！



「以和貴会の魅力を法人内外へ発信」「魅力の発信を通じて人材育成」「事業内、事業間のチームワーク強化」を目的として『魅力発信プロジェクト』をスタートさせました！プロジェクトメンバーは、各事業の若手職員を中心に構成し、様々なアイデアを出し合いながらしっかりと情報を発信して参ります。

12月24日（木）に第1回の会議も行い、これから本格的に活動を開始していきます。各情報については、法人のホームページやSNS（Facebook・Instagram）を通じて発信して参りますので、是非ご確認ください。



《ありがとうございました》

多くの方よりご寄附をいただきました。皆様方からの寄附を施設整備など、有効に活用し、ご利用者のために使用させていただきます。

《個人》

池上治人、増尾明広、中塚かをる、船木二男、中筋廣次、川本正矩、高司示現、川北司朗、永田恵美子、匿名希望2名

《業者ほか》

(株)タクサン、(株)ステップワン、(株)老松園、(株)奈良ヤクルト販売、(株)田原建設、テラセ訪問美容、船木燃料店
(順不同・敬称略)

《賛助会員募集》

引き続き賛助会員を募集いたします。同封の振込用紙にて会費のお振込を是非お願い申し上げます。寄附金控除を受けるための領収証をご希望の方は「通信欄」にてご連絡ください。

《編集後記》

明けましておめでとうございます。今年の干支は「辛丑（かのとうし）」です。「辛」は「草木が枯れ、新しくなろうとしている状態」。「丑」は「種から芽が出ようとする状態」を表しており、「終わりと始まり」、すなわち“転換期”を意味します。当法人でも新生ゆらくの里スタートなどの大きな転換期を迎え、新たな第一歩を踏み出していきたいと思ひます。

発行： 社会福祉法人 以和貴会
住所： 〒639-0261
奈良県香芝市尼寺 616 番地
編集責任者：理事長 下村 卓司
Mail： office@yuraku.or.jp
発行月： 令和3年1月